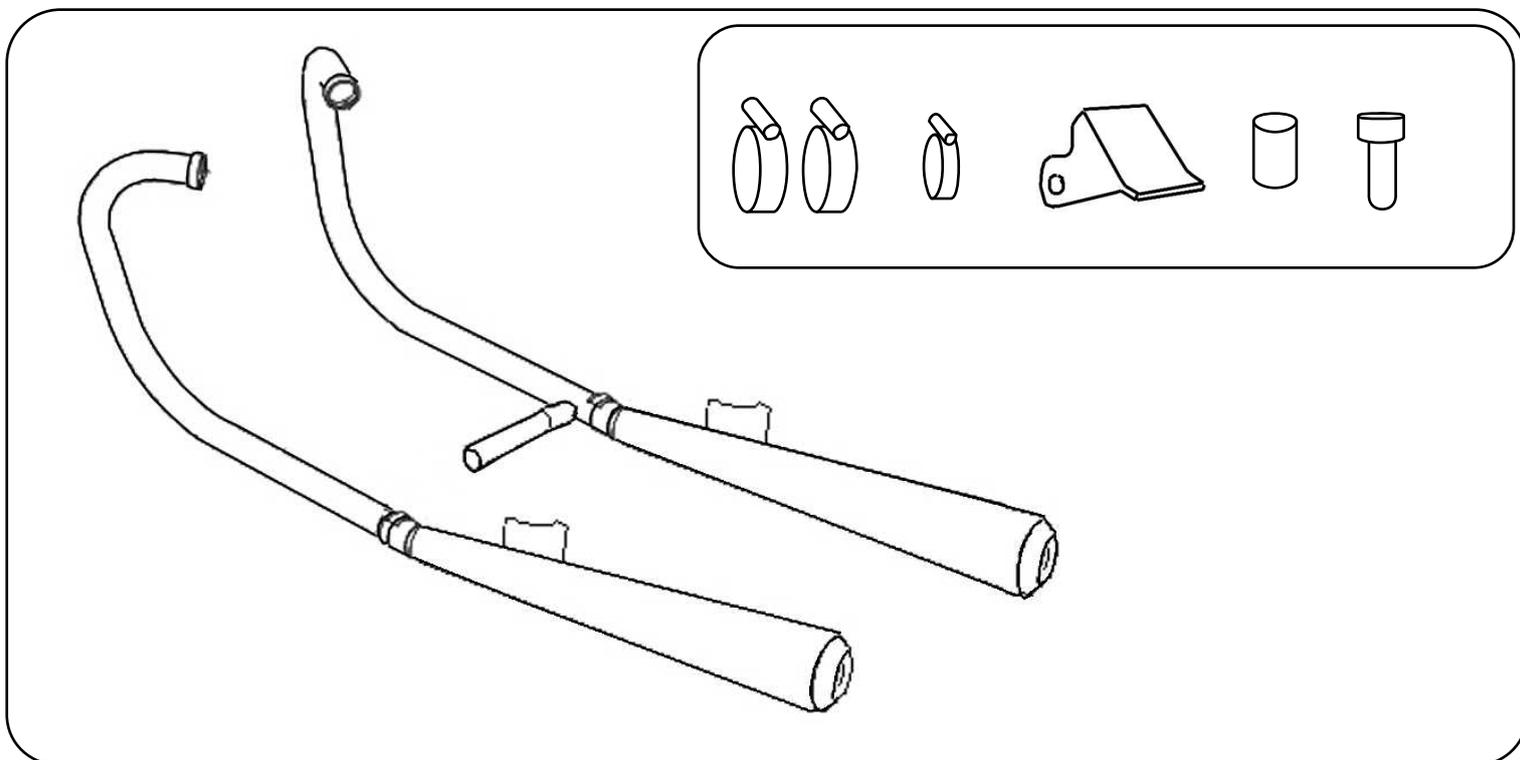


この度は、弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
取り付けに関しましては、メーカー発行のサービスマニュアル及び当説明書の指示に従って作業を行って下さい。作業は必ずエンジンが冷えた状態で、且つ車体が安定した状態で行って下さい。このマフラーは、W800(EBL-EJ800A)用となっております。その他の機種(車両型式)に関しては、取り付け確認及び車検対応の確認を行っていませんのでご注意下さい。取り付け作業に関して、ご不明な点などございましたら、当社までお問い合わせ下さい。



純正マフラーの取り外し

メーカー発行のサービスマニュアルの指示に従って純正マフラーを取り外します。取り外しの際の純正フランジや割りカラー・ボルト・ナット類の一部はノジママフラーを取り付ける際にも使用します。

O2センサーはノジママフラーにも使用します。

センタースタンドストッパーの取り付け

センタースタンドを留めている左側の純正ボルトを外し、代りに スチールカラー、ボルトを用いて センタースタンドストッパーを取り付けます。(右図参照)
取り付け後、実際にセンタースタンドを動かしてみて、確実にストッパーとして機能している事を確認して下さい。

エキゾーストパイプの取り付け

純正のフランジ・エキゾーストカラーを用いてエキゾーストパイプを取り付けます。フランジ部のナットはこの時点では仮止めの状態にしておきます。バイパス部で左右のエキゾーストパイプを繋ぎ クランプバンド小で仮止めします。バイパス部のセンサーボスにセンサーを取り付けます。配線が擦れたり突っ張ったりしていない事、熱を持つ部分や稼動する部分に干渉していない事に十分注意して下さい。

センサー脱着時に配線を擦ると断線の原因になります。

フランジ部のエキゾーストガスケットは新しいものをご用意下さい。

各差込み部には排気漏れ防止の為、シリコンボンド等を薄く塗布する事をお勧めします。

仮止めにした箇所は最後に各部の干渉や全体のバランスを確認した後、忘れず本締めして下さい。

パーツリスト(梱包内容)

図番	パーツ名	数量
	EXパイプ #1	1
	EXパイプ #2	1
	サイレンサー 左	1
	サイレンサー 右	1
	クランプバンド大	2
	クランプバンド小	1
	スタンドストッパー	1
	スチールカラー	1
	ボルト M10-50	1



サイレンサーの取付け

純正マフラーから、ステー部のゴムブッシュ及びカラーをサイレンサーに移植します。次に、サイレンサーにクランプバンドを組み付けておいてからサイレンサーをエキゾーストパイプに差込み、純正のボルト・ナットを用いて車体に仮留めします。マフラー各部と、スイングアーム・ブレーキ廻り等に干渉が無い事を確認し、問題がある場合は各差込み部で微調整を行った上で、最後にフランジ部・サイレンサー部のボルトナット類、クランプバンドを本締めします。

スタンドやペダルを動かした際も干渉の無い事をご確認下さい。

サイレンサーには左右がありますので注意して下さい。(ステー部に認証プレートが貼付けてあるのが左側)

純正よりも自由長の長いリアショックを取りつけた場合、アクスルシャフトと左サイレンサーが干渉する場合があります。

サイレンサーステーの固定箇所にワッシャーやカラーを挟むなどして十分なクリアランスを確保して下さい。

最終確認

以上で作業は終了です。マフラーに付着した汚れをよく拭き取った上でエンジンを始動し、排気漏れ等がない事を確認し、必要があれば修正を行って下さい。

皮脂などの脂分が残ったままエンジンを掛けると、焼けムラの原因になる場合があります。

セッティングについて

このマフラーはすべてスタンダードの状態では性能を発揮するよう設計されておりますので、基本的にセッティングは不要です。(より突き詰めてセッティングを行う事でより良い結果を得られる場合はございます)

又、アクセルを戻した際に起こるアフターファイヤーが純正マフラーに比べて目立つ場合がありますが、これは車両の吸排気系が排ガス浄化の目的で積極的にマフラー内で二次燃焼を起こす仕組みになっている為であり、特に不具合等の心配はございません。純正マフラーはサイレンサー内に壁が多い構造の為アフターファイヤーが目立ちませんが、純正マフラーでも同様に発生しています。適用される排ガス規制により、同車両の二次燃焼システムのキャンセルは禁じられています。車検に合格できなくなりますので絶対にお止め下さい。

注意！

走行中や走行後、マフラーは非常に高温になります。特にこのマフラーは排出ガス浄化の目的で、サイレンサー部に触媒を使用しており、従来のマフラーに比べ更に高温になりますので、より一層の注意が必要です。火傷や衣類・靴等への熱害・損傷には十分お気をつけ下さい。又、駐車の際は他の人が触れない様にご配慮下さい。

クローム仕様に関して

一部箇所に二重管を採用するなど、極力焼けが発生しない様な構造に設計しておりますが、金属の性質上熱量の多い箇所には焼けによる変色が発生します。定期的にクロームメッキ用の焼け取り剤などを用いてメンテナンスを行ってください。(用途の異なるケミカル類を用いると、メッキのくもりや剥がれの原因になります。十分注意して下さい。)

黒塗装仕様に関して

表面の塗装は熱が加わる事で初期なじみし、その後定着する性質をもっています。マフラー装着直後はアイドリングから始めて軽く慣らし運転をする等、徐々に熱を掛けて下さい。(初期なじみの段階で急激に熱が加わったり冷やしたりすると反対に塗装が弱くなりますのでご注意ください。) 一時的にマフラー表面から煙が出ますが暫くすると止まりますので、慣らしの目安にしてください。

走行時、走行後は大変マフラーが高温になっています。火傷にお気を付け下さい。

シンナー等の強力な有機溶剤は本製品には使用しないで下さい。

本製品はJMC Aの認定を受け、排気ガス検査成績書を付属しております。車検時に必要となる大切な書類ですので無くさないように注意して管理してください。(再発行は有償となります)

転倒等に伴う修理に関しましては、状態によりお受けできる場合と出来ない場合がございます。電話・メール等にてお問合せ下さい。その他ご不明な点ありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。